

## 令和4年度業務実績報告書

提出日 令和5年1月10日

1. 職名・氏名 教授 北村知之

2. 学位 文学修士、専門分野 美学美術史学、授与機関 京都大学大学院、  
授与年月 昭和58年3月

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 美学（2単位）1、2、3年生
②内容・ねらい 美学の基礎的教養を身につける。 美をめぐる問題、すなわち感性的認識と芸術活動についての諸問題について概観し、感性についての哲学的反省を促し、われわれの生にとって感性が如何なる役割を果たしているかについて理解を深める。さらに、その文脈において、日本の感性的文化についても目を向ける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 資料提供やレポートのやりとりは Google Classroom を通じて行った。配付プリントは pdf ファイルでアップロードすると共に、教室では印刷したものを配布した。 毎回、Google フォームによって受講レポートを提出させ、次の授業において適宜コメントを返し、質疑応答の時間を設けた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 美術史（2単位）1、2、3年生
②内容・ねらい 古典美術についての教養を身につける。 西洋の古典的美術作品に親しむとともに、それらが形成された歴史的な文脈を理解することによって、美術と歴史との密接な関係を認識する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業は対面で行い、資料提供やレポートのやりとりは Google Classroom を通じて行った。配付プリントは pdf ファイルでアップロードすると共に、教室では印刷したものを配布した。配布プリントは、空白箇所をもうけ、学生が書き込んで完成させるという形式をとった。毎回、Google フォームによって受講レポートを提出させ、次の授業において適宜コメントを返した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 芸術学（2単位 毎年度開講）1、2、3年生
②内容・ねらい 芸術についての基礎的教養を身につける。 近代美術の変容を具体的に取り上げて、今日における芸術の意味について学生に自らの考えを持たせることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 画像教材はもとより動画なども織り交ぜて、飽きのこない講義となるよう工夫した。 資料提供やレポートのやりとりは Google Classroom を通じて行った。配付プリントは pdf ファイルでアップロードすると共に、教室では印刷したものを配布した。配布プリントは、空白箇所をもうけ、学生が書き込んで完成させるという形式をとった。

毎回、Google フォームによって受講レポートを提出させ、次の授業において適宜コメントを返した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
日本の文化と社会（2単位） 1、2、3年生

②内容・ねらい

学術教養センター教員によるオムニバス講義である。『もののけ姫』を統一的題材として取り上げ、これを教員がそれぞれの専門から分析・考察することによって、一つのものが持つ多様性と面白さを学生に理解させる。報告者は、宮崎アニメの芸術学的意義を論じ、映画の特性を理解させることを目指した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

パワーポイントのスライドに、動画を多数取り込み、内容をより視覚的かつ直接的に理解できるようにした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
比較文化論（2単位） 1、2、3年生

②内容・ねらい

世界各地をフィールドにしている学術教養センター教員によるオムニバス講義であり、個々の国や地域について多様な角度からアプローチする姿を示して、学生たちの目を世界に向けさせる。もって学生たちの視野を広める。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

報告者は本講義の企画と運営責任者として、全体を取りまとめ、また授業計画が円滑に進行するよう連絡調整に尽力した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
導入ゼミ（1単位 前期開講）1年生

②内容・ねらい

1年生前期の必修ゼミ。「ヨーロッパの都市と芸術」というテーマでヨーロッパの地理・歴史・文化財に目を向けながら、資料調査、文献目録作成、ノート作成、パワーポイントによるプレゼンの実演など多様な課題を課して、大学での勉学の基礎を学ばせた。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

1年生の必修授業であり、全学部の学生が少人数（16名）で集うことのできる唯一の授業であることに鑑み、できるだけ学生間の交流を図ることを心がけた。学生の発言の機会を頻繁に設け、また小グループにおいて意見交換させるなどした。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
教養ゼミ（1単位 後期開講）1年生

②内容・ねらい

「アート研究」というテーマで、美術や芸術に関心を持つ学生を対象に、特定の芸術家や時代を対象に、みずから調査を行って、アート世界の果てしない広がり面白さを認識させる。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

少人数授業であり、各人の個性や傾向を把握し、具体的な指示やアドバイスを与えるよう努めた。具体的には、提出物についての個別指導、頻繁な声かけを行った。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
学術ゼミ（2単位×2 每学期開講）2、3、4年生

<p>②内容・ねらい</p> <p>向学心旺盛な学生を対象として、いくぶん哲学的な文化論のテキストを講読しながら、要約の作成、質疑応答を繰り返すことによって、知的な言語力を涵養することを旨とした。前期は三島由紀夫『日本人養成講座』をテキストとし、後期は学生が個別にテキストを選び、それぞれ議論を行った。できるだけ幅広い話題を提供し、学生自身が自らの言葉で知的話題について語れるようになることを目指した。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>この授業には、向学心に溢れた学生が集っており、時間割で定められた授業時間を離れての勉強会を開いたり、他県で就職した卒業生に Zoom 授業に参加してもらったりして、より広い視野をもって知的活動を行っている。また異なる学年の学生が知的内容について議論をする機会でもあり、学年の上下で互いに良い効果を及ぼしあっている。</p>
<p>(2)非常勤講師担当科目</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 西洋史概説 (2 単位) 滋賀県立大学</p>
<p>②内容・ねらい</p> <p>ヨーロッパの近代以前を民族移動という観点から概観することによって、今日のヨーロッパが抱えている民族問題について考えるための基本的知識を身につける。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p> <p>対面授業を行った。1日5コマ、3日連続の集中講義であり、学生の集中力を維持することにも配慮が必要であった。そのために、教材に多様性を持たせた。スライド資料はもとより、動画などの視聴も組み込んで、講義の問題意識が現在に生きるわれわれにとって無縁なものではないことを示した。</p>
<p>④本学における業務との関連性</p> <p>同じ県立大学ではあるが、大学のカラーは異なっており、本学の在り方について比較反省するための参考となっている。</p>
<p>(3)その他の教育活動</p>
<p>内容</p>

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書 共著, 『福井県大のリベラルアーツ』, 2022.3.	【1本】
②学術資料(査読あり) 北村知之, 渡邊浩一, 「福井県立大学の教養教育略史」, 『福井県立大学論集 第58号』, pp. 35-52, 2022.	【1本】
③その他論文(査読なし)	【本】
④学会発表等	【件】
⑤その他の公表実績	【本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
美学会	

#### 5. 地域・社会貢献活動

国立病院機構あわら病院臨床研究審査委員会委員(2006～現在)

#### 6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
学術教養センター 予算委員長 学術教養センター 教務・カリキュラム委員 学術教養センター 評価委員 学術教養センター 国際交流委員 学術教養センター オムニバス講義コーディネーター 来年度新規採用教員に関する人事委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など